

セ ポ ネ



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発! ボランティア生活発見マガジン
<http://www.otagaisama.or.jp/>

2014.7 No.123

クガヤ

今月のトピック

特集●

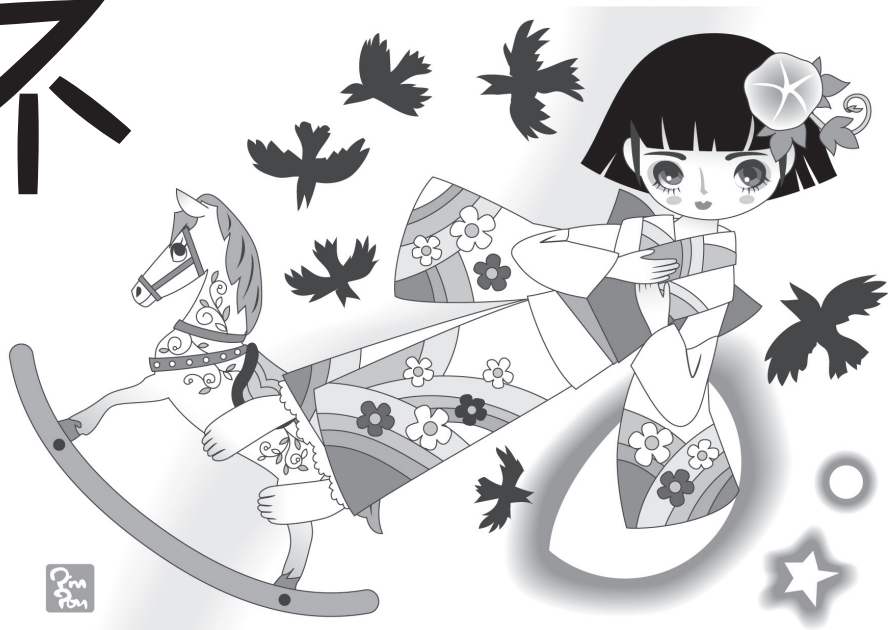
自然エネルギー活用の可能性

ボランティア

～世田谷区みうら太陽光発電所 訪問～

まちの市民力! ● NPO 法人 コモンビート

キラリ世田谷人 ● 永井 憲一さん



イラストレーション●先斗ボン太
絵師。様々な分野へのイラストレーションを
提供。平面以外に立体人形も制作。

●わたしの世田谷
目の前の木には可愛い野鳥達が遊びに来ます
部屋にはイモリやダンゴムシ、蜘蛛など楽しい
仲間達が訪ねて来ます。

自然エネルギー活用の可能性 ～世田谷区みうら太陽光発電所 訪問～



2011年3月11日の東日本大震災と原発事故のあと、多くの人たちが自然エネルギーへのシフトを模索し始めました。世田谷区でもさまざまな取り組みがなされてきましたが、今年3月に稼働を開始した「みうら太陽光発電所」が注目を集めています。先日催された「自然エネルギー学習会」に同行し、あわせて、学習会の運営を担当した「せたがや市民エネルギー合同会社」の浅輪剛博さんにお話を伺いました。

「健康学園」が「自然エネルギー」を生み出す場に

世田谷区ではエネルギーの「地産地消」をめざし、「世田谷ヤネルギー」と称する屋根への太陽光パネルの設置を後押しする制度を開始し、区内に大きな太陽光発電所を作るのではなく、一軒一軒の屋根での発電を合わせた「世田谷発電所」を構想して、普及に努めています。そして今年3月1日から現実の太陽光発電所が機能し始めました。神奈川県三浦市に完成した「みうら太陽光発電所」です。

ここには2005年まで世田谷区立三浦健康学園がありました。高度経済成長期に公害などの影響が子どもたちにも及んだ頃、喘息や病弱の学童を受け入れてきましたが、だんだんと利用する子どもたちが少なくなり、学園は廃止、建物は解体されました。残った土地は買い手がつかず放置されていましたが、ここが太陽光発電所の設置場所として活用されることになったのです。健康学園がなくなつたのは惜しいことでしたが、自然エネルギーの発電所として生まれ変わり、区民に還元されることになりました。

5月26日、「自然エネルギー学習会 in 三浦」という催しが区の環境計画課によって行われ、受付から40分で定員40名がいつぱいになったそうです。自然エネルギーに対する区民の関心の高さ、そしてマダラの水揚げ港として有名な三浦漁港も人びとを惹きつけた要因でしょう。

せたがやから始めるエネルギー
シフト

今回の学習会の実施部隊となったのは、「せたがや市民エネルギー合同会社」。世田谷をエネルギー依存からエネルギー自立の地域へシフトしたいと願う市民団体「世田谷みんなのエネルギー」が、昨年10月に「人が合同する」責任ある会社組織をつくりました。代表社員の一人である浅輪剛博あさわ たかひろさんは、出版関係のサラリーマンでしたが、3・11を契機に会社を辞め、以前から関心のあつた「まちづくり」「環境」に関わる活動に専念しています。エネルギーや食べ物を地域内で循環させる「地産地消」をめざし、「トランジション世田谷茶沢会」を2010年に立ち上げました。「世田谷みんなのエネルギー」では、出資金の他、サポーターを募って賛助金を集め、下北沢のカトリック教会の屋根に「カリタス下北沢ソーラー市民協同発電所」を昨年



協同市民多い5月
ソーラー電量
1,300kWhを
下北沢も最
カリタス発電所

6月に設置しました。そうした実績もあって、今回の見学会の運営を区から委託され、行政と市民との協働が実現しました。

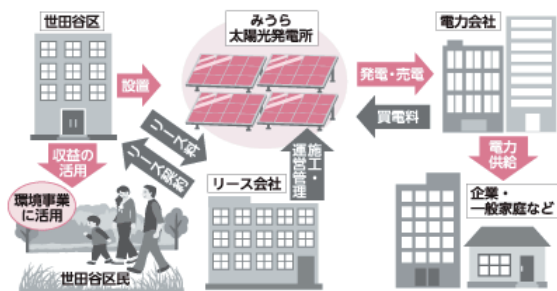
学習会では太陽光発電所だけでなく、三浦市が取り組んでいるバイオマスや風力発電の現場も見られるというので、バスの後を車で走って同行取材してきました。大型観光バスは廃油を利用したバイオ燃料で走るもので、排出ガスは天ぷらを揚げた時のような臭いがありました。

世田谷区民が受ける恩恵は？

区役所を出発後、1時間半ほどで潮の香りのする三浦に到着。高台まで登るとそこには1680枚の太陽光パネルが南向きに並んでいます。昼に換算すると約1900kWh分。遮るものがない、海を見渡す土地。日照時間が長く、太陽光発電には適した場所となっています。このパネルの特徴は傾斜が少なく5度になっていること。風が強くと、風の抵抗でパネルが壊れる可能性があるからですが、発電量は変わらないそうです。発電した直流の電気は、パワーコンディショナにより交流電気に変換されます。発電量は420kwで、一般家庭130世帯の1年分の電力量に相当。6月1日放送のエフエムせたがやの番組「区長の部屋」で、保坂区長は「想定外の3〜4割増しに稼いでくれています」と語っていました。太陽光発電は天気や日照時間により発電量が変わってくるので、梅雨前の季節が稼ぎどきとなるのでしょ

う。

ここで発電された電気は、いったいどのように世田谷区民の元に届くのでしょうか。まずは運営の形態です。土地は世田谷区のもの。施工は「太陽光発電設備を設置・運営する事業者」を公募した結果、国際ランド&デイベロップメント(株)と国際航空業(株)が落札し、発電所をつくりました。そして設置され



みうら太陽光発電所の事業のしくみ

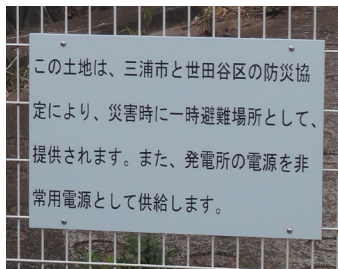
たパネル設備を世田谷区がコピー機のリースをするように使用し、20年にわたってリース料を払っていきます。リースには保守管理も含まれ、事業主体である世田谷区は、発電した電気を電力会社に売り、そこからリース料を差し引いたものが区の事業収入となります。その収益が、シンポジウムなどエネルギーに関するイベントなどの環境事業に活用され、区民が恩恵を受ける結果となるそうです。

ちなみに、売り先の電力会社は東京電力ではなく、エナリスというPPS(特定規模電気事業者)です。大口の利用者に対しては2000年から「電力自由化」されていて、PPSが参画できます。世田谷区では、小中学校の8割にあたる施設の電力購入をPPSに切り替えることにしたので、その結果来年度の電気料金を約1億円節減できる、というわけなのです。三浦の場合も、電力購入事業者の競争入札を行い、国が決めた固定価格よりキ

ロワットあたり2.5円高い38.5円で買い取るエナリスに決定しました。収入からリース料を差し引いた収益は年間400万円ほどと考えられます。

太陽光発電所は避難所にも

世田谷区と三浦市の協定では、地震・津波・大規模な火事、その他の災害が発生した時に敷地を避難所として使用することができ、さらに、災害時に太陽光発電所の電源を地元住民に開放して便宜をはかる、としています。両者にとつて「オイシイ話」です。また、今

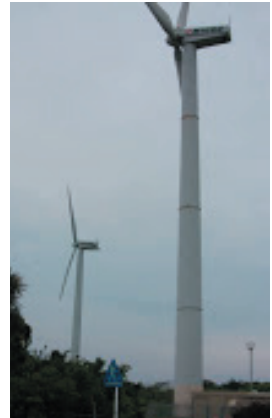


災害時には地元住民のためにも

回は実現しませんでした。太陽光発電ではパネルの位置を高めに作ってその下で野菜をつくる、ということも可能だとか。こういう「ソーラー・シェアリング」の考え方が広まると、さらに太陽光発電の「オイシサ」も増しますね。さらに世田谷区は群馬県・川場村でもソーラー発電、小規模水力発電を計画しており、投資の余裕がない自治体でもリースで自然エネルギーを活用していけるという可能性が、全国の関心となつていくようです。

「自然エネルギー」学習の場

三浦には風力発電用の風車が2基稼働しています（400kw×2）。三浦はとても風が強いところなので、羽根が音をたてて勢よく回っていました。発生した電気は、公園の照明、トイレ、風車のライトアップ用に使われ、残りは東京電力に売られています。そこ



風力発電用の風車

に隣接したところに「三浦バイオマスセンター」があります。し尿・浄化槽汚泥、農作物収穫残渣（三浦は大根、メロン、スイカなどの生産で有名）・魚の残渣、下水道汚泥などのバイオマス資源を処理し、生成するバイオガスで、お湯や電気をまかない、堆肥を製造して農地に還元するという、資源循環型のシステムです。この目的もうひとつの見学場所「イイジマ農園」ではバイオマスセンターからの堆肥を独自にブレンドし、化学肥料を一切使わない農業を行っています。参加者は大根、キャベツなどの収穫を楽しみました。

三浦市自体が、地の利、産業を

生かしつつ、自然エネルギーを創りだしていくこうとしていたところに、世田谷区の太陽光発電所が完成したわけですから、ここは「原発に頼らないエネルギーへのシフト」を学ぶ上で最適な場所といえるでしょう。かつて世田谷区の健康学園であったところが、今度は世田谷区の子どものための「自然エネルギー」の学びの場になる、というのはステキな転身です。魚も野菜もおいしい三浦を、世田谷の人たちをもっとよく知るきっかけにもなります。こうして、電気を生産する地と、電気を消費する都市部がつながる、そんな将来も見えてきます。

大人気だった今回の学習会、好評にこたえて秋にも実施されるそうです。ぜひ、参加して「自然エネルギー」の可能性を実感してみてください。

（取材 星野弥生）



NPO 法人
コモンビート

まちの 市民力!!

取材・小川 宏

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



2004年に世田谷区で誕生し、今年で11年目を迎えたNPO法人コモンビートは、「個性が響きあう社会へ」をスローガンに、表現活動によって、自分らしく、たくましく生きる個人を増やし、多様な価値観を認めあえる社会の実現を目指しています。

表現活動の中でも特にミュージカルという総合芸術に着目し、創設時から、100人の出演者が集まり、100日間で作り上げる「A COMMON BEAT」ミュージカルプロジェクトをメイン事業に据え、個性を響かせて多様な価値観を認めあえる人びとを増やしています。

このミュージカルプロジェクト

に、これまでに約3000人が参加。来場者も10万人にのぼります。開催地域も東京・名古屋・大阪に加え、2013年からは福岡や石巻にも広がっています

あだちりょう

理事長の安達亮さんによると、2011年の東京公演がコモンビートにとって一大転機だったようです。東京公演の4か月前に東日本大震災が起こり、電力などの問題により、当時、多くのエンターテイメントが自粛に追い込まれました。コモンビート内でも、開催する、しないで悩んだといえます。最終的には、出演者の意思を尊重しようということになりました。復興の兆しになるので、ぜひやりた

い！」との声が上がリ、開催されることになりました。

紆余曲折ありながらも東京公演は無事成功。「もし中止の判断をしていたら、現在実施中の石巻周辺の住民で創り上げる東北ミュージカル（7月5日、6日公演）にもつながっていなかっただろう」と安達さんはふり返ります。

今年の東京公演は、8月1日（金）、2日（土）に昭和女子大学人見記念講堂で開催されます。東京公演出演者の練習は佳境に入っています。が、同時期に開催される東北公演出演者とは兄弟キャストとして交流を図りました。5月末に合同練習を行い、復興に向けて歩む街の様子や、街の人の声を知ること、自分たちの作品づくりに対して目の色が違ってきたといいいます。

出演者の個性が響きあう、すてきなミュージカル「A COMMON BEAT」東京公演をぜひご覧ください！

【先着】5組10名様に東京公演招待券プレゼント！申込み方法はP.15
NPO 法人コモンビート TEL03-6805-3844 <http://commonbeat.org/>



お話をうかがった

憲法ひとすじ

永井 憲一 さん
ながい けんいち

や せた人が キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

する憲法学の課題」。永井さんのスタンスは「すべからず、憲法学者は、古い『象牙の塔』の研究から脱却、飛躍して、国民生活に則した実践

車田悌三さん亡き後、「世田谷

ボランティア協会をなさえる会」

の会長をお引き受けただいてい

る、法政大学名誉教授の永井憲一

さんは、その名の通り「憲法ひと

すじ」の人生を歩んでこられた方。

「憲法」と「教育法」を合わせて

研究し、実践してきた永井さんの

集大成ともいべき本『憲法と教

育法の研究―主権者教育権の提

唱』が出版されました。

2002年に定年を迎えるまで

の教壇生活中の軌跡の記録が第一

部。退職後の新たな活動が記され

た第二部。そして第三部は「実践」

的方法による任務を果たすこと」。

「憲法」が危うくなっている今、現

在の改憲論についての意見を聞き、

学びたいという要請がいくつも舞

い込み、それを「私の恐らく最後

の実践活動となるであろう『貴重

な予定』だ」と、数々の講演をこ

なします。「憲法」と「教育法」を

説き続けてこられた永井さんの一

番の主張は「主権者教育権」。「日

本国憲法の掲げる平和主義や民主

主義と人間の尊重の理念を実現す

るのにふさわしい主権者となるこ

とができるような教育の権利」と

いうことです。「その意味で、『神話』

を復活させ、『大國主の命』（いな

ばのしろうさぎ）の唱歌が再登

場することになった学習指導要

領や、教科書出版社を集めて『教

育基本法の目標等に照らして重

大な欠陥がある場合は検定不合

格要件とする』と申し渡した文

部科学省の姿勢は、主権者の教

育権を侵害する」として厳しく

批判しています。「今後ともこ

うした諸問題に対する『社会学

者としての探求』の実践に励ま

なくてはならないだろう」と第

三部は結ばれています。

もうひとつ注目すべきは、30

『憲法と教育法の研究―主権者教育権の提唱』勁草書房
定価 7,000 円＋税のところ、特別価格 5,880 円（税込）
『日本国憲法』なのだ！』草土文化 税込 972 円

*沿線別にイベントやボランティア
情報を入れていきます。
詳細はP10～15をご覧ください。



と語ろう不登校 part182
7/19 (土) 14時～
NPO僕んち P15

おでかけひろば ほっこ
月曜～金曜 10時～15時
日本自由キリスト教会内 P14

●小田急線沿線

- ☆施設での軽作業・検品のお手伝い募集 詳細 P11
- ☆長期入院児のきょうだいをみてくださる方募集 詳細 P11
- ☆日本語教室ボランティア募集 詳細 P11

コモンビートミュージカル東京公演

8/1、2
昭和女子大学人見記念講堂
NPOコモンビート P15

フラン・ジャパン
休み読書感想文コンクール
6/20～9/3
フラン・ジャパン事務局 P13

チャイルドライン公開講座
7/5 (土) 15時～17時半
7/11 (金)、18 (金)、25 (金)
19時～21時半
世田谷ボランティアセンター P14

避難所運営ゲーム (HUG)
7/25 (金) 19時半～21時半
世田谷ボランティアセンター P14

会議室の利用申し込み方法変更
7/1 (火) 10時～
世田谷ボランティアセンター P13

「失語症のこと、一緒に話しませんか？」
7/26 (土) 10時半～12時
世田谷ボランティアセンター P14

フェ～発達障がいの方、
ここでゆっくりすごしませんか～
7/11 (金) 13時～16時
毎月第2金曜日
玉川ボランティアビューロー P13



OTAGAISA MAP

おたがいさマップ ● 情報トピック

●京王線沿線

- ☆小1の学校内支援ボランティア募集 詳細 P10
- ☆求む！小5男子の通級の付き添い 詳細 P11
- ☆家の掃除を手伝ってくださる有償スタッフ募集 詳細 P12

藍工房展

7/7 ~ 12 10時 ~ 18時
新宿三井ビル 55 スクエア P 13

●東急線沿線

- ☆通学時間にバス停まで送ってくださる方募集 詳細 P10
- ☆音楽専門学校内でサポートしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆犬の散歩をしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆将棋の相手をしてくださる方募集 詳細 P10
- ☆日本語教室ボランティア募集 詳細 P11
- ☆下校の付き添いをしてくださる方募集 詳細 P11
- ☆女性介助ボランティア募集 詳細 P12
- ☆車いす使用男性のサポート有償スタッフ募集 詳細 P12
- ☆高齢者への体操の先生（有償スタッフ）募集 詳細 P12

- 京王線沿線
- 小田急線沿線
- 世田谷線沿線
- 東急線沿線

この地図には沿線ごとのトピックをいれています。
他にも世田谷にはたくさんの素敵な出会いがいっぱいです。後に続く情報をマップにおとしたり、今月のあなたの『おたがいさま』を書き入れてみてはいかがでしょうか。
★や●で入れるのもよし、活動の記録・行動(アクション)の目安に是非ご利用ください。

ボランティア求む

東 通学時間にバス停まで送ってくださる方募集

特別支援学校に通う元気な小学生の男の子を、上用賃4丁目の自宅からスクールバスのバス停まで送ってくださる方を探しています。バス停までは徒歩10分ほどです。スクールバスに乗るのを見届けて活動終了です。最初は母親が付き添いますので初めての方でも安心です。元気な方なら年齢・性別は問いません。詳しくはお問

合わせください。

東 音楽専門学校内でサポートしてくださる方募集

音楽専門学校に通う21歳の女性が学校内でサポートをしてくださる方を求めています。四肢、体幹にまひがあり、電動車イスを利用して通学をしています。学校内でドアをあけたり、エレベーターでの乗り降り、スロープを出したり移動のサポート、教室内で鉛筆や楽譜など荷物を出したりなどのサポートが必要でです。

- 日時/月曜から金曜(週1~2回でも可) 7時45分ごろ自宅を出発し、スクールバスのバス停まで一緒に歩いて移動
- 場所/上用賃4丁目
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関
TEL 5712・5101
imazeki@otagaisama.or.jp
- お問い合わせください。
- 日時/毎週火曜日 11時~13時(11時~12時の間だけでも可)
- 場所/国立音楽院内(池尻3・28・8)
- 交通/池尻大橋駅が三軒茶屋駅から徒歩8分
- 条件/できれば女性。音楽が好きな方だと嬉しいですが。経験はなくても大丈夫です。
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木
TEL 5712・5101
suzuki@otagaisama.or.jp

京世 小学1年生の学校内支援ボランティアの募集

小学校1年生の女の子の学校内サポートをしていただける方を探しています。

出生時に脊髄の手術をしており、歩行・トイレにサポートが必要でです。柔和で、めったなことでは騒いだり泣いたりせず、周囲を困らせるようなことのない大人な一面も持っています。

東 犬の散歩をしてくださる方募集

玉川小学校そばにお住まいの方が小型犬を飼っています。家族と想ってかわいがっていますが、事情があつて散歩に連れて行けなくなりました。

この方の代わりに散歩に連れて行ってくれる方を探しています。犬が好きな方のご協力をお待ちしています!

- 日時/月~木曜日 週2回から1日20分程度。時間帯は応相談。
- 場所/玉川小学校近辺
- 条件/女性。交通費応相談。
- 問合せ/玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tanadora@otagaisama.or.jp
- 日時/月~木曜日 週2回から14時30分の間。1~2時間、週1日の活動でもOKです。
- 交通/下高井戸駅徒歩2分
- 条件/交通費支給
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関
TEL 5712・5101
imazeki@otagaisama.or.jp
- 日時/週1回程度。1回1時間くらい。曜日と時間帯はご相談。詳しくはお問合せください。
- 交通/大井町線上野毛駅から徒歩10分程度
- 問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 今関
TEL 5712・5101
imazeki@otagaisama.or.jp

東 将棋の相手をしてくださる方募集

中町のグループホームに入所している80代男性が将棋の相手をしてくれる方を探しています。

詳しいはお問合せください。

東 下校の付き添いをしてくださる方募集

アスベルガー症候群の小学6年生の男子が、小学校からの下校時のお迎えをしてくれる方を探しています。ふだんはお母さんが毎日送迎していますが、火曜・水曜・木曜のうち一日でも協力していただけるとうかります。

●内容/等々力小学校へ自宅(等々力6丁目) 徒歩15分くらゐ

小 長期入院児のきょうだいをみてくださる方募集

成育医療センターに長期入院している2歳のお子さんにお母さんが付き添っている日中、3歳のお姉ちゃんをみてくださる方を探しています。

お母さんは、お姉ちゃんも連れていきたいと思っていますが、子どもは病室に入らず、一時預かりの時間では足りないため、困っています。

京東 求む！ 小5男子の通級の付添い

小5男子が2学期から通級学級に通う際の付き添いを探しています。

●日時/9月から毎週金曜日午後
●内容/送り:代沢地区の小学校から若林地区の小学校まで(13時出発、13時半到着)
迎え:若林地区の小学校から代

●日時/火曜15時半、水曜14時、木曜15時から、徒歩15分程度
週1回でも可

●条件/男性希望
●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528

tanabara@otagaisama.or.jp

時間や場所などはこれから検討しますが、ご協力いただけそうな方がいましたらご連絡いただけるとうかがいたいです。

●日時/相談

●場所/成育医療センター近辺

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712・5101

suzuki@otagaisama.or.jp

沢4丁目の自宅まで(15時半出発、16時ごろまで)

※移動はバスを利用予定です。

●条件/交通費は応相談

●問合せ/梅丘ボランティアビューロー

TEL 3420・2920

uneborae@otagaisama.or.jp

小 就労継続支援施設の軽作業・検品のお手伝い

就労継続支援B型事業所「ざしきわらし」は働く場(喫茶作業・軽作業)や、レクリエーションなどの日中活動の場の提供を行う事業所です。

現在、受託している軽作業(封入、アクセサリー製作、タグ付替えなど)の作成補助、検品及び納品準備をお手伝いしてくれる方を募集しています。軽作業は専門的な技術がなくても大丈夫です。

精神保健福祉や通所施設に興味のある方、軽作業の活動に興味のある方を募集します。詳細はお問い合わせください。

●日時/月曜〜土曜日(水曜を除く)の間で、週1回でも可

10時〜18時の間でご相談

●交通/小田急線祖師ヶ谷大蔵駅

●問合せ/医療法人社団 風鳴会

ざしきわらし 担当 磯部

西川(さいがわ)

TEL 3482・8067

東小 外国人のための日本語教室ボランティア募集

「JCA」は地域に暮らす外国人に日本語学習の支援をする活動です。原則として1対1での指導で、その方の日常生活に役立つよう教えています。日本語指導の経験は問いません。年会費1000円の協力をさせていただきます。詳しくはお問い合わせください。

①日時/毎週火曜10時〜11時半

●場所/世田谷ボランティアセンター

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ/JCA千歳船橋

火曜日クラス 担当 宮本

080・5388・9577

yumi.ka.happy-ft@cup.on.ne.jp

②日時/毎週水曜10時〜11時半

●場所/世田谷ボランティアセンター

●交通/三軒茶屋駅徒歩12分

●問合せ/JCA千歳船橋

水曜日クラス 担当 平野又三

090・8452・6629

FAX 5374・1315

hirono316@yahoo.co.jp

③日時/毎週水曜19時〜20時半

●場所/砧総合支所(成城ホール)会議室

●交通/成城学園前駅徒歩3分

●問合せ/JCA明正日本語会

担当 村西卓

TEL 3415・0268

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

東 急募！女性介助ボランティア募集

私は桜新町駅周辺に住んで、24時間介助が必要な重度の障害がある46歳の女性です。12年前、グラフイックデザインの仕事をしたくて上京してきました。困難もありますが、たくさんのご縁に助けられ、仕事をしながら自立生活を続けています。

現在、仕事中の11時～18時の間のボランティアを急募しています。時間は応相談です。内容は、食事、排泄介助、見守りなどです。活動に入っていたら前に必ず研

修を行います。

仕事を続けることは、私のアイデンティティでもあります。ご協力くださる方ご応募お待ちしております。

*詳細はお問合せください。

●日時/11時～18時の間で、応相談。1時間でもかまいません。

●場所/桜新町の自宅

●条件/女性、交通費支給。

●問合せ/中川美貴子

090・89699・9454

pinesand@tashi.jp.web.com

有償スタッフ募集

京 家の掃除を手伝ってくださる方募集！

60代のご夫婦ともに病氣や障害があるため、家の掃除を手伝ってくださる方を探しています。掃除のやり方は家族がお伝えします。区の緊急介護人派遣制度に登録していただきます。

●日時/週1～2回、1回1～2時間程度 時間は応相談

●場所/代沢の自宅(池ノ上駅から徒歩8分)

●条件/女性。時給1000円(交通費込)

●問合せ/代田ボランティアピ

ーロー 担当 峯崎

TEL 3419・4545

databor@otagaisana.or.jp

東 急募！車いす使用の男性、生活と仕事のサポート

重度障がい者で車いす使用の50代男性が、ご家族が不在の時間、自宅で身の回りの家事と仕事のサポートをしてくれる方を求めています。

掃除、布団干し、資料文献の整理、ファイルの入力作業など。(時に、ピンチヒッターとして入浴の部分介助や外出の付き添いなどをお願いすることもあります)

「障害学」をはじめ社会福祉分野の研究をおこない、数々の講師をしている、明るく楽しい方です。お待ちしております！

●日時/週1～2回。1～2時間程度。日時は応相談。

●場所/二子玉川近辺の自宅(最寄駅は二子玉川駅か上野毛駅)

●条件/時給1000円、交通費別途支給。年齢・性別不問。資格不要。

●募集/3名

●問合せ/玉川ボランティアピ

ーロー

TEL 3707・35288

tanabora@otagaisana.or.jp

東 高齢者への体操の先生を募集しています

デイホーム野沢では、楽しく体操を教えてくださいませんか？募集しています！土曜日の午前中、月1回程度、間に休憩を入れながら1時間くらいお願いします。

専門的な機能訓練ではなく、みんなで声を出し脳を刺激しながら体をほぐし、怪我をしにくい体づくりや楽しみの提供が目的です。

●日時/月1回程度、土曜日

10時45分～11時45分

●場所/デイホーム野沢

●条件/1回2000円(交通費含む)

●問合せ/社会福祉法人 奉優会

デイホーム野沢 小原(オハラ)

TEL 5431・60095

nozawa@foryou.or.jp

講座・その他・募集

会議室の利用申し込み方法を変更します

7月1日から、ボランティアセンターとボランティアビューローの会議室の利用申し込み方法を一部変更します。

①利用申込開始日が「2か月前の1日」に変わります。(1日が休館日の場合は、翌開館日です)
※7月1日は、8月利用分と9月利用分の申し込みの受付を開始します。10月利用分は2か月前の8月1日から申し込みの受付を開始します。

②利用申込開始日の朝10時から11時までは、電話による申し込み

東 ココカフェ (Coco cafe)

「発達障がいの方」、「こころ」で一緒にゆつくり過ごしませんか? 発達障がいの特徴をもつ方、そのご家族、また関心のある方... ちよつとのぞきに来ませんか?

●日時/7月11日(金)13時~16時(お好きな時間にどうぞ)

●毎月第2金曜日

●場所/玉川ボランティアビューロー

のみに変更いたします。

※利用申込開始日に早い時間帯から窓口と並んでいただくことがないようにするためです。11時以降は、窓口でも申し込みできます。ただし、聴覚障害等で電話での申し込みが難しい団体はFAXでお申し込みください。
*詳しくは窓口でお問い合わせください。

●問合せ/世田谷ボランティアセンター

TEL 5712・5101
FAX 3410・3811

●参加費/お茶代100円

※昨年度の「発達障がい者の社会参加を支援するボランティア養成講座」修了者が運営しています。

●問合せ/玉川ボランティアビューロー

TEL 3707・3528
tamabota@otagaisama.or.jp

夏休み読書感想文コンクール 読んで世界に近づこう!

国際NGOプランでは、次世代を担う全国の中学生を対象に、途上国の女の子の現状と力について理解を深め、自分たちに何ができるかを考える「夏休み読書感想文コンクール 読んで世界に近づこう!」を実施します。詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

●内容/課題図書2冊のうち1冊を選び読書感想文を書いてください。(中学生の部1200字以内、高校生の部1600字以内)

●課題図書/中学生の部 ①『武器より一冊の本をください』少女マララ・ユスフザイの祈り 金の星社 ②『貧しい国で女の子として生きるということ』遊

タイム出版(いずれか1冊) 高校生の部 ①『Because - an English』英治出版、②『わたしはマララ』教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』学研出版(いずれか1冊)

●募集期間/6月20日(金)~9月3日(水) 締切

●審査委員長 角田光代氏(直木賞作家、プラン・ジャパン支援者) *入賞者には角田審査委員長より講評をいただき、書籍や賞状を授与します。

●問合せ/プラン・ジャパン

TEL 5481・0030
education@plan-japan.org
http://www.plan-japan.org

第32回 藍工房展

今年で32回目をむかえる藍工房の物販イベントです。新宿三井ビルで行われます。

藍染め、刺し子、機織り、陶芸、組紐などの人気の定番作品から、通常のバザーでは販売していない商品も販売いたします。

●日時/7月7日(土)~12日(土)

10時~18時(初日11時~、最終日17時まで)

●場所/新宿三井ビル1階 55スクエア

●交通/新宿駅徒歩6分

●問合せ/社会福祉法人 藍 藍工房 担当 勝田 藍
TEL 3412・1366

講座・その他・募集

東 「避難所運営ゲーム（HUG）」参加者募集

避難所運営ゲーム（HUGⅡ）は2007年に静岡県でつくられた。

避難所に集まる人々には、それぞれに抱えた状況があります。「HUG」はこの状況を背景にして次々に起こる事態に的確にそしてスピーディに判断し対応していくシミュレーションゲームです。いつ起こるか分からない災害に備え、ぜひ一度体験してみましよう！

東 「失語症のこと、一緒に話しませんか？」

失語症があり会社員として働いている30代の女性の方と一緒に企画しています。

脳の損傷などの影響で、思っていることを言葉に出せなくなる失語症。家族や友人とのコミュニケーション。職場の人間関係、仕事の仕方など悩むことが多いと思います。少人数で、失語症のことを話せたらと思っています。話さなくても、きいているだけでもいいです。

失語症を知らない方も、ご参加

●日時/7月25日（金）19時受付開始、19時半～21時半

●場所/世田谷ボランティアセンター会議室

●参加費/3000円

●主催/S.S.TASQ(タスク)

●問合せ/世田谷ボランティア 担当 高橋

TEL 5712-5101

setaboraa@otagaisama.or.jp

お待ちしています。（参加費無料）

●日時/7月26日（土）10時半～12時

●場所/世田谷ボランティアセンター会議室

●対象/失語症の方（40代くらいまでの方）、その家族、友人、職場の同僚など失語症に関わる方

●問合せ/世田谷ボランティアセンター 担当 鈴木

TEL 5712-5101

suzuki@otagaisama.or.jp

京 「おでかけひろば ぼっこ」オープン！

「おでかけひろば ぼっこ」は、北沢5丁目の教会の施設を活用して5月にオープンした子育て支援施設です。親子が自由に遊べる屋内スペースと四季の樹木が豊かなお庭があります。昼食やおやつを持って一日の中んびり過ごすことができます。親子が楽しく遊び、交流できるプログラムや季節のイベントを開催していく予定です。

東 チャイルドライン公開講座2014

「子どもの気持ち、届いていますか？」子どもの声を受けとめられる大人になるための講座です。

子どもと直接関わってきた講師陣の生の声やワークを体験して、せたがやチャイルドラインの『聴く』を体感してみませんか。

6月から始まっている連続講座の第5回/第8回ですが、興味のある回だけご参加いただけます。

①7月5日（土）15時～17時半

「児童虐待の現状と児童相談所の役割」和田芳子

②7月11日（金）19時～21時半

「子どもの声を聴いてみる」

田野浩美

●日時/月曜～金曜日10時～15時（不定期で土曜日も開所）

●場所/日本自由キリスト教会内（世田谷区北沢5-14-10）

●交通/京王線笹塚駅徒歩7分、下北沢駅徒歩13分 北沢中学の裏です。

●問合せ/おでかけひろばぼっこ

TEL 5790-9894

http://osekaijindo.com/

③7月18日（金）19時～21時半

「ボランティアが支えるせたがやチャイルドライン」月田みづえ/星野弥生

④7月25日（金）19時～21時半

「コミュニケーションの体験」山本多賀子

●場所/世田谷ボランティアセンター

●参加費/1回2000円（学生半額）

●定員/30名

●申込み/メールまたはFAX

●問合せ/せたがやチャイルドライン事務局

TEL 5712-5101

FAX 3410-3811

childline@otagaisama.or.jp

東 コモンビート東京公演招待券プレゼント!

今月号の市民力(6ページ)でご紹介した、「NPO法人コモンビート」様から、先着5組10名様に東京公演招待券プレゼント!

●公演日時/①8月1日(金)19時半~21時、②8月2日(土)13時~14時半、③8月2日(土)17時半~19時

●会場/昭和女子大学人見記念講堂
●申込方法/メール申込み
info@commonbeat.org に、

小 羽根木プレーパーク35周年記念イベント

地域住民の手で運営されている、日本で最初につくられた冒険遊び場「羽根木プレーパーク」が今年で35周年をむかえます。盛大にお祝いしましょう! 詳細はお問い合わせください。

●日時/7月20日(日) 午後(雨天時は21日に延期)
●場所/羽根木プレーパーク
●交通/梅ヶ丘駅徒歩3分
●問合せ/羽根木プレーパーク
TEL 3324・9284

小 「もっ」と語ろう不登校 part 1 821

これまで20年にわたって、さまざまな方がたの分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めの方もお誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時/7月19日(土) 14時~

●場所/NPO 僕んち
●参加費/300円(カンパ歓迎)
●交通/小田急線梅ヶ丘駅 井の頭線東松原駅 徒歩10分
●問合せ/世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もっ」と語ろう不登校」担当 高橋
TEL 3327・7142

東 夏のボランティア体験、参加者募集

夏のボランティア体験プログラム「ナツボラ2014」、ぜひご参加ください。

●対象/区内在住・在学・在勤の中学生~30歳くらいまでの方
●申込受付日/7月6日(日)、13日(日) 11時~14時(予約不要)必ず本人が来所、代理申込みも可。先着順。
●申込予備日/7月23日(水)、7月30日(水)、8月5日(火)、8月7日(木) 13時~14時半(要予約、事前予約は7月8日以降、受け付けます)
●オリエンテーション/申込日同日の14時半~17時(予備日のオリエンテーションは人数により早く終わる場合があります)

●受付会場/世田谷ボランティアセンター
●参加費/1500円(別途ボランティア保険代300円)
●体験期間/7月22日(火)~8月31日(日) までの間で3~4日間
●内容/高齢者施設、障がい者施設、保育園、プレーパーク、NPO・NGO団体、ボランティアアグリなどでのボランティア体験。活動先リストは、<http://blog.campan.info/setabora-vc/>

ナツボラ・ジュニア 参加者募集

小学生向けのボランティア体験プログラムです。
●対象/区内在住の小学生とその保護者
●申込み/7月1日(火) 11時~ボランティアアビューロウ窓口、受付開始(期間中の月曜~土曜 11時~16時)
●参加費/500円(ひとり3P)

●ログラム参加可) 別途ボランティア保険300円
●体験期間/7月22日(火)~8月31日(日)
●受付・問合せ/代田ボランティアアビューロウ、梅丘ボランティアアビューロウ、玉川ボランティアアビューロウ
TELは16ページのとおり

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058

●いのちを大切にするとところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8741 FAX (5829)8743

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬2-20-9 TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒158-0083 奥沢8-13-10 TEL (5829)8742 FAX (5829)8743

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

もうすぐ夏休み! 30年目をむかえるナツボラは、今年も78か所の受け入れ先にご協力いただいでボランティア体験プログラムを提供します。新たな出会いや自分の可能性をみつけてみませんか。

◆ふらっと&withより

ふらっと、withの暑い夏の過ごし方は、涼を求めてのプチ旅です。潮風に当たりに海辺へ、かき氷、アイスをもとめて甘味屋へ、そして何ととっても美術館等々、楽しみにしています。一緒に行きませんか。

◆チャイルドラインより

「せたがやチャイルドライン公開講座」実施中! 「心の扉には内側にしか取っ手が無い。心は開くものではなく開かれるもの」、子どもの話に心を傾けて聴ける大人でありたいと、受け手になるために学んでいます。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

編集後記

- クールビズ、打ち水、節電の夏。電気をなるべく使わない選択のほかに、太陽のチカラを電気にかえるしくみが広がっています。2016年をめぐりに「電力自由化」する法改正がありました。これからは電力を選ぶ時代になりそうですね。
- 毎月第3水曜日は「ボラセン歌声ひろば」、ボランティアセンターに歌声が響いています。歌うことは身体にもいいといわれ、気持ちもすっきりします。歌いにきませんか?
- 先月号を読んだ方から、初めてお手紙をいただきました。記事を読んでお手紙をくださるとは、とてもうれしくなりました。これからご意見・ご感想をお待ちしております!(み)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<http://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
興梠 寛